



仙台市役所

◇しごととセミナー

【土木職】

都市整備局

地下鉄沿線まちづくり課

男性職員

自己紹介

- 出身：大阪府堺市

- 年齢：33歳

- 入庁までの経歴：

平成24年3月 大学卒業

平成24年4月 大阪府松原市役所入庁

(うち平成28年4月から平成30年3月までの2年間
東松島市へ災害派遣)

令和 3年3月 大阪府松原市役所退職

令和 3年4月 仙台市入庁

(採用区分：社会人経験・職種：土木)

なぜ公務員？

- 待遇（例：給与の安定や休暇制度充実など）
- 幅広い仕事の経験
（土木職の例：道路、公園、上下水道、地下鉄など）
- 法令知識の習得
（土木職の例：都市計画法、土地区画整理法など）

なぜ仙台市？

- 東日本大震災における派遣職員として宮城県に住み、少し都市部から離れると自然があふれる環境に惹かれた。
- 将来の子育て等のライフプランを考えたときに、自分が生涯住むまちをより良くしていきたい思いが仙台市職員を目指すきっかけとなった。

3 配属先での業務①

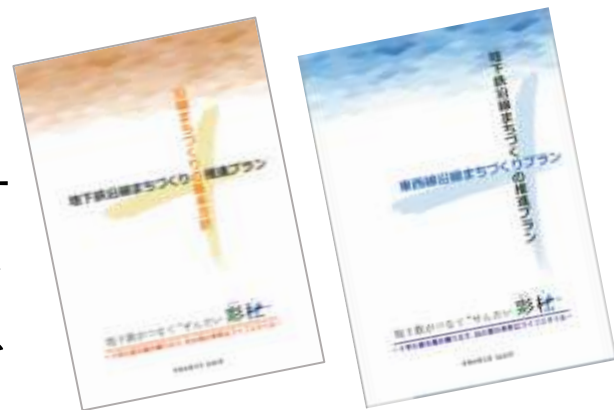
地下鉄沿線まちづくり課

◇課の業務内容

当課が策定した沿線まちづくりの基本方針や東西線・南北線沿線まちづくりプランに沿って、各駅ごとの地域の取組みを支援

◇わたしの担当業務

- 卸町駅・六丁の目駅・荒井駅周辺のエリアマネジメント
- 六丁の目元町・六丁目地区土地区画整理組合の事業の認可、指導、助言など



地下鉄沿線まちづくり課

◇大変であること

- 地域組織の思いと行政の思いの隔たり
(過去は行政主導が主であったが、現在は民間主導へシフト)

◇やりがい

- 各駅の発展に向けたまちづくりへ携われること
- 課題解決に向けた取組みへの誘導

仕事と家庭の両立の確保

◇当課の現状

- 時間単位での休暇取得が可能のため、子どもの体調不良など急な予定が生じても対応可能
- 結婚休暇や育児休業など、家庭を重視でき、パートナーや子どもとの時間を確保できる。



具体的な理由

- 実際に宮城に住み、大阪と比べると、特に宮城の中心である仙台都心部は、人込み具合も丁度良く、少し車を走らせると温泉や山など自然あふれる環境が豊富であり、将来の子育て等のライフプランなどを考えたときに、定住したいと感じた。

仙台市役所のしごとは・・・

- 多種多様な業務に携われるため、自分のキャリア設計の幅が広がる！
- 税金関係や不動産関係の業務もあるため、普段の生活に役立つ知識もたくさんある！
- まちづくりはすぐに目に見える成果が現れるものではないが、数年、数十年にわたってまちの変貌が実感できる！

**ぜひとも一緒に自分の成長とともに
仙台のまちも成長させていきましょう！**